

リコール等情報

リコール情報：Z250（2014年3月6日届出）

リコール届出番号	3320	リコール開始日	平成26年3月7日
不具合の部位(部品名)	緩衝装置(後輪用ショックアブソーバ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	後輪用ショックアブソーバ内のシールゴムの耐久性が不十分なため、シールゴムが劣化して変形する。そのため、そのままの状態で使用を続けるとシール性が低下し、オイルが漏れるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、後輪用ショックアブソーバを対策品と交換する。それに伴い、取付ナットとOリングを新品と交換する。		
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用者:ダイレクトメールで通知する。 ・ 自動車分解整備事業者:日整連発行の機関誌に掲載する。 ・ 改善実施済車には、ステアリングヘッドパイプの車台番号打刻位置付近にNo.3320のステッカーを貼付する。 		

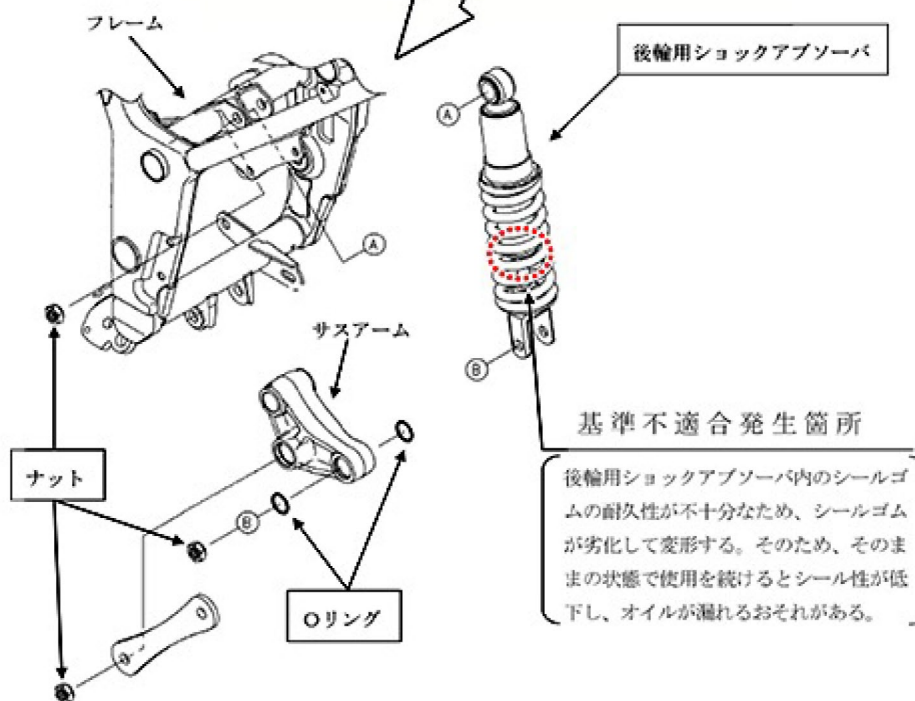
型式	通称名	リコール対象車の車台番号 (シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の 台数
JBK-ER250C	Z250	ER250C-A00048 ~ ER250C-A03499 平成25年2月22日 ~ 平成25年6月6日	491
合計			491台

〈ご注意〉対象車の製作期間はご購入された時期とは異なる場合があります。
また、対象範囲内であっても、一部に回収済の車両もあります。

改善箇所説明図

リコール等情報

改善箇所説明図 Z250



基準不適合発生箇所
 後輪用ショックアブソーバ内のシールゴムの耐久性が不十分のため、シールゴムが劣化して変形する。そのため、そのままの状態で使用を続けるとシール性が低下し、オイルが漏れるおそれがある。

改善対策の内容
 全車両、後輪用ショックアブソーバを対策品と交換する。それに伴い、取付ナットとOリングを新品と交換する。

注： は交換部品を示す
 識別：後輪用ショックアブソーバの下側ブラケットに白色の識別ペイントを塗布する。

リコール情報へ戻る